

まちの話題

西原東中の生徒たちが、住んでいる地域で清掃活動

中学生が地域とのつながりを図り、住んでいるところへの愛着を育むことを目的に、西原東中(下地京子校長)が主催する「一斉地域ボランティア」が、7月31日に実施されました。この事業は同中の中学生と自治会で組織する「地域生徒会」が企画した、生徒会活動の取組みで、中学生が夏休み期間を利用して、住んでいる地域の自治会と連携して清掃活動を行うものです。

協力した自治会からは地域がきれいになるだけでなく、住んでいる子どもたちとのつながりができて自治会



活動につなげられると好評を得ています。

この日は西原東中の生徒527名が各自自治会に集まり、道路のゴミ拾いなどを行いました。

「西原クラブOB」がマスターズ大会を初制覇

満40歳以上に参加資格がある日本スポーツマスターズ2012沖縄県予選大会(県バレーボール協会主催)が7月15日に開催され、西原クラブOBが初優勝しました。西原高校の卒業生を中心に結成された同チームは、10月に開催される全国大会に出場します。仲宗根純一監督は「小中高から一般、ママさんバレーと西原のチームは輝かしい実績を残しているが、やっとマスターズで優勝することができた。」と喜びを語りました。



全国の舞台で中学生が躍動!

「第20回全国中学生なぎなた大会」が7月22日に山口県で開催され、西原東中の生徒が全国の舞台で活躍しました。演技競技の部で大城舞さんと安次嶺友恵さんが2位、玉那覇紗妃さんと泉川有紗さんが3位に入賞しました。団体試合の部では2チームが3位と4位に入り、個人試合の部では玉那覇さんが3位に輝きました。



道路をきれいに、川を美しくしよう! 平成24年度道路・河川愛護デー実施

地域の環境美化に関心を持ち「道路、排水、河川愛護の心」を高めることを目的に平成24年度道路・河川愛護デー(西原町主催・西原町産業通り会、(公社)西原町シルバー人材センター共催)が、7月20日に実施され、町道内間小那覇線(産業通り)と小波津川の清掃活動が行われました。

清掃活動には企業関係者や町シルバー人材センターの会員など、243人が参加。夏に入って茂った雑草の草刈りや、落ちていたゴミの回収作業などに従事し、約16.5トンのゴミを集めました。



フ口野球選手の指導に、 野球少年たちが釘付け!

将来を担う子どもたちに夢や希望を与え、野球を通じたスポーツの普及・振興及び青少年の健全育成を目指すことを目的に、平成24年西原町少年野球教室(町教育委員会主催、(株)ヤクルト・沖縄ヤクルト(株)共催)が、8月2日に東崎公園で開催されました。

野球教室には町内の6小中学校の野球チームから約160名の児童生徒が参加しました。指導にあたったのは、ヤクルトスワローズの元プロ野球選手の杉浦亨さん、花田真人さん、中尾敏浩さんの3名。

キャッチボールの練習では「今のうちに正しいフォームで投げるように」と基本動作を丁寧に説明。杉浦さんは



「練習はやればやるほどよくなる。練習のときは、自分が一番下手だというのが大事。」と力強くアドバイスしました。

夜空の下で読み聞かせ

「あっと-め-のささやき」を開催

町内小・中学校の読み聞かせボランティアグループで結成される「読みあいネットワーク喜楽星☆7」(比嘉清美代表)が主催する読み聞かせイベント「あっと-め-のささやき」が、7月7日に町立図書館で開催されました。

今回で8回目を数えたこのイベントは、夜に行われるのが特徴。バラエティに富んだ紙芝居や絵本の読み聞かせが行われ、七夕にちなんだ絵本などが読まれました。また、ミニコンサートとしてユーフォニアムやリコーダーアンサンブルの演奏が披露されました。イベントには多くの親子が参加し、夜空の下で聞く読み聞かせを楽しみました。



町老人クラブ連合会が40周年を迎え、 記念式典を開催

西原町老人クラブ連合会(屋良朝光会長)が設立40周年を迎えたことを記念して、7月13日にエリスリーナ西原ヒルズガーデンで記念式典が開催されました。

昭和47年に230名の会員で設立した同会は、これまで8代の会長のもとで発展を続け、現在は900名余の会員数を誇る組織になりました。平成23年度には健康づくり活動が評価され、全国表彰を受けています。

40周年を記念し、屋良会長は「終戦を経験して70歳を越えた私たちは、それを子や孫に語り継ぐことが本旨。これからも健やかにすごすことが地域に活力を与え、子や孫への孝行になる。」と参加者に対してあいさつしました。

式典では、役員経験者5名に役員功労の表彰を、これまでの事業への貢献に対し5名に会員功労の表彰を、8名に記念事業に対する高額寄附の表彰を行いました。



町シルバー人材センターが全国表彰

(公社)全国シルバー人材センター事業協会の30周年記念事業として、(公社)西原町シルバー人材センターが県内で唯一、優良シルバー人材センターの表彰を受けました。

今回の全国表彰は60歳以上の人口のうちの加入率や、会員の就業率、模範となる事業運営などが表彰の理由になりました。それに加えて同センターは、専門部会や委員会活動、地域や職種ごとの活動が盛んで、事故防止などの安全対策が特徴として認められました。また企画提案方式の独自事業「緑のリサイクル事業」で堆肥の販売などを行っており、行政と連携した取組みや自主財源確保の実績などが高く評価されています。

表彰の報告を受けて上岡町明長は「同センターの今後の拡大、事業展開を支援していきたい。これからも独自収益の確保、事業を発展させ、高齢者の就業対策を推進してほしい」と激励しました。



国指定史跡、内間御殿の保存管理に向け、 計画策定のための委員会が発足

昨年2月に内間御殿が国指定の史跡となったことを受けて、将来へ継承していくことを目的とした西原町国指定史跡内間御殿保存管理計画策定委員会(當眞嗣一委員長)の第1回会議が、8月3日に開かれました。策定委員会では、委員会メンバーが内間御殿や周辺の現地確認をした後、保存管理計画の策定へ向けた会議を行いました。

会議では、オブザーバーとして参加した文化庁の主任文化財調査官を務める佐藤正知氏から熱のこもったアドバイスがあり、東江御殿の石垣の復元、整備も視野に入れた活発な意見や提案が飛び交いました。同委員会では今後2年、計6回の会議を重ね、内間御殿の保存、管理の計画を策定するための検討が重ねられます。

